

漁海況情報

第466号 (平成23年4月11日)

TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

今回の地震・津波によって被災された漁業関係者の皆さまに対し、心よりお見舞い申し上げます。また、1日も早く復興されますよう心より願っております。

・水産試験場「最上丸」と水産課「月峯」は4月5日に沿岸の水温観測を実施しました。

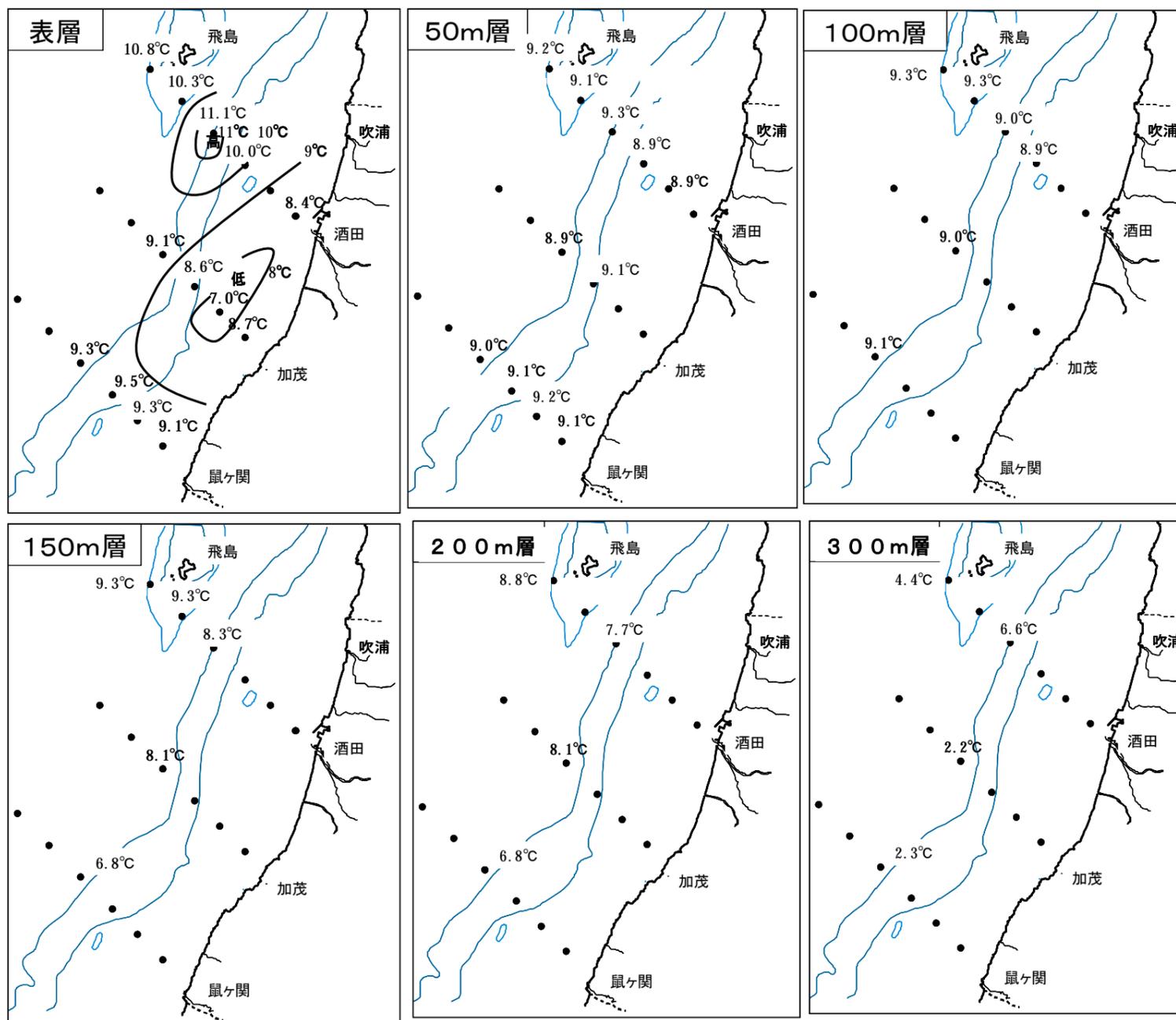
表層～100m層は「平年並み」、150m層は「平年よりやや高め」、200m層は「平年よりかなり高め」、300m層は「平年よりはなはだ高め」でした。

・独立行政法人 水産総合研究センターは平成23年4月6日に「平成23年度 第1回 日本海海況予報」を発表しました。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

	単位:℃					
	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	9.5	9.1	9.1	9.0	7.9	3.9
前年差	-0.4	-0.3	-0.3	-0.2	-0.1	+1.3
平年差	-0.2	-0.2	+0.2	+0.9	+1.9	+2.1
評価	平年並み	平年並み	平年並み	やや高い	かなり高い	はなはだ高い
(前月評価)	平年並み	平年並み	やや低い	やや低い	やや低い	平年並み

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(3月)

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	7.4	-1.1	-0.8	やや低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	8.1	-1.7	-1.0	やや低い

・地先水温: 水産試験場は「やや高め」、栽培漁業センターは「平年並み」の水温になっています。

平成23年度 第1回 日本海海況予報

平成23年4月6日
 独立行政法人 水産総合研究センター発表

今後の見通し(2011年4月～6月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は、「やや高め」～「かなり高め」で経過する。
- ・対馬暖流域の50m 深水温は、西部及び北部とも「平年並み」で経過する。



2011年4月～6月の海況

- 隠岐諸島北北東の暖水域は、南下して隠岐諸島北東に勢力を拡大する。
- 能登半島西方の暖水域は、東方に移動して能登半島西部沿岸～佐渡島南方に分布する。
- 佐渡島北方の暖水域は、勢力を弱めながら一部は男鹿半島西岸に移動する。
- 津軽半島西方の暖水域は、弱体化する。
- 隠岐諸島西方に新たな暖水域が形成される。
- 島根沖、山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや弱め。
- 佐渡島沖、入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。

3月の漁況

・3月は時化による影響で操業隻数、漁獲量とも減少し、延べ操業隻数は1,390隻で前年比62%、総漁獲量は187トンで前年比71%でした。
 ・底びき網漁業の漁獲量は146トンで前年比77%でした。スズキ、ズワイガニは前年を上回り、ハタハタ、マダラ、タコ類は前年を下回りました。
 ・はえなわ漁業の漁獲量は9トンで前年比48%でした。メバル類は前年を上回りましたが、タイ類、タコ類は前年を下回りました。
 ・その他の漁業では、やりいか定置網漁業のヤリイカは前年を上回りましたが、一本釣漁業のタイ類、採貝藻漁業のアワビ、サザエ、かご漁業のタコ類は前年を下回りました。

全漁業支所別漁獲量

* 前年比は平成18～22年までの平均値と比較した値です。
 単位: kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	73	177	188	116	211	182	83	360	1,390	74%	62%
計	12,556	9,875	26,314	3,897	29,659	14,129	1,887	88,893	187,209	89%	71%
前年比	78%	72%	61%	94%	82%	64%	43%	124%	89%		
前年比	70%	48%	60%	72%	60%	54%	45%	92%	71%		

底びき網漁業

単位: kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	24	61	9	67	28	139	328	96%	77%
タイ類	10	1,407	3	316	619	535	2,890	104%	86%
ヒラメ	408	307	202	1,650	554	894	4,015	103%	116%
カレイ類	1,026	1,102	232	2,907	830	2,449	8,546	97%	99%
ハタハタ	594	649		6,689	3,066	44,674	55,672	86%	62%
アンコウ	1,765	762	253	2,815	725	3,720	10,040	150%	106%
スズキ	632	4,148	36	510	191	745	6,262	298%	294%
マダラ	1,412	2,000		1,269	547	5,996	11,224	142%	56%
アカエビ	23	4,194		114	27	6,938	11,296	75%	85%
ズワイガニ	969	723		2,084	228	842	4,846	59%	125%
タコ類	202	67	5	122	117	538	1,051	58%	61%
その他	2,566	4,530	82	3,833	2,349	16,374	29,734		
計	9,607	19,889	813	22,309	9,253	83,705	145,576	96%	77%
前年比	72%	70%	83%	75%	56%	132%	95%		
前年比	67%	72%	67%	58%	47%	95%	77%		

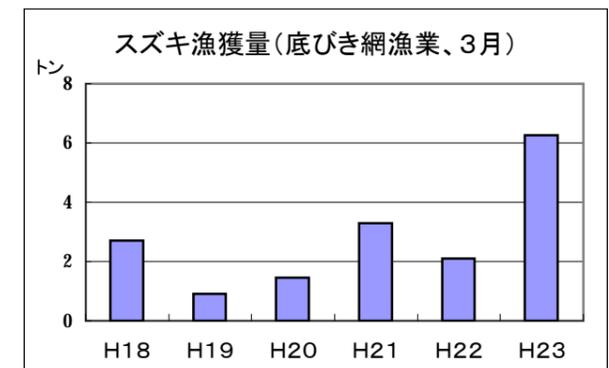
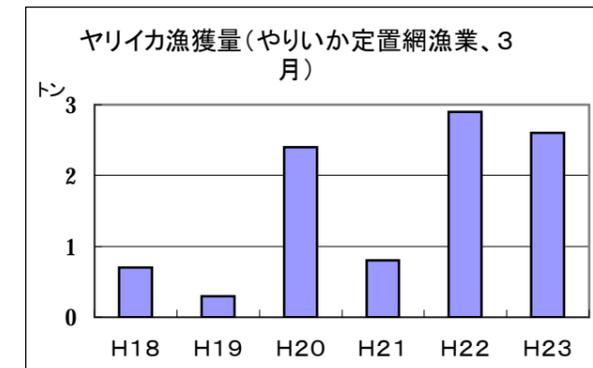
その他の漁業

漁業種類	さし網漁業	一本釣漁業	定置網漁業	やりいか定置網漁業	採貝藻漁業			かご漁業
延べ操業隻数	319	81	10	13	223			61
対象魚種	マガレイ	タイ類	サクラマス	ヤリイカ	アワビ	サザエ	ナマコ	タコ類
漁獲量(トン)	7.4	0.5	0.7	2.6	1.2	0.7	2.4	1.5
前年比	199%	22%	138%	91%	52%	42%	159%	64%
前年比	103%	39%	115%	186%	46%	47%	87%	55%

はえなわ漁業

単位: kg

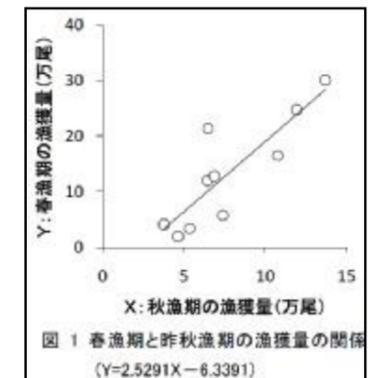
支所	加茂・由良	豊浦	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	58	68	54	84	7	271	72%	72%
タイ類	2	3	915	1,640		2,558	40%	45%
メバル類	5		118	305	1	429	315%	264%
タコ類	2,499	2,203	82		50	4,834	71%	79%
その他	48	291	294	249	548	1,430		
計	2,554	2,497	1,409	2,194	597	9,251	44%	48%
前年比	72%	87%	43%	50%	8%	44%		
前年比	71%	68%	50%	54%	12%	48%		



漁業情報

石川県におけるサワラ春漁期(4～6月)の漁況見通しについて
 (石川県水産総合センターの漁海況情報より)

サワラ銘柄(1.5kg以上)について、春漁期とその前年の秋漁期の漁獲量には相関関係がみられます(図1)。これは、秋に来遊した群れが石川県近海で越冬し、春に再び漁獲されるためと考えられます。
 この関係式によると、昨年の秋漁期の推定漁獲尾数は、6万6千尾であったことから、今春の漁期の漁獲量は、10万4千尾(およそ208トン)と見積もられ、過去5カ年平均(392トン)を下回ると予想されます。
 また、2010年12月の県内産地で水揚げされたサワラ銘柄のサイズは、2009年12月と比較すると成長の良い個体(400gほど大きい)が多くみられました。このことから、今春漁期のサワラ銘柄は、前年同期に比べてやや大型(2～2.5kg)が主体になると予想されます。



最上丸の調査予定(4月中旬～5月上旬)

底びき網調査、漁獲加入量調査、海洋観測

- ・底びき網調査(ハタハタ)を行います。
- ・漁獲加入量調査を行います。
- ・海洋観測を行います。

みなさま、調査へのご協力よろしく申し上げます。

